

# 地域農業を支える多様な人材の活躍

～ 空知管内における農福連携の推進に向けた取組 ～

対象：農福連携志向農業者 など

## 1 活動の背景

- ◇農業・農村を支える人材の状況：後継者不足や高齢化から農業の労働力不足  
→農福連携や外国人技能実習生、ワンデー雇用等の多様な人材・多様な形態による労働力の確保が必要
- ◇農福連携の推進に向けた取組：志向農業者・志向福祉施設ともに具体的情報不足  
→総合振興局や関係機関と連携した農福連携の推進  
→岩見沢地域をモデルとした取組支援と対象者へのフォローアップ

- ◇取組メンバー（岩見沢地域農福連携関係者）
  - ◆岩見沢市及び三笠市（JAいわみざわ管内）の農業者・福祉事業所、JAいわみざわ、岩見沢市役所（農政・福祉）  
空知総合振興局農務課、空知農業改良普及センター

## 2 活動の経過

- ◇農福連携を知るための活動（農業を知る、福祉を知る、現場を見る）
  - ◆空知管内農福連携セミナー開催  
→初年度（R2年度）は指導農業士・農業士と福祉施設の出会いの場となり、2名の指導農業士をモデル農場として農福連携に向けた取組を開始
  - ◆先進地視察の実施  
→農福連携に取組む、管内外の農業者、福祉事業所、振興局への視察研修の実施
  - ◆農作業見学会・農作業体験会の実施  
→福祉事業所の支援員や利用者を対象とした農作業見学会・体験会を実施。  
→見学会・体験会終了後には、感想を話し合い、福祉事業所ごとに、農作業のマッチングの可能性を確認



農作業体験会・りんご葉摘み



先進地視察・JAきたそらち



先進地視察・上川管内果樹園

- ◇農福連携を推進するための活動（農福連携実施状況の確認）
  - ◆岩見沢農福連携実施状況調査、◆空知管内農福連携関係者意見交換会
  - ◆岩見沢管内福祉事業所への訪問

- ◇農福連携の実施に向けた活動（農業者と福祉事業所のマッチングとフォローアップ）
- ◆農福連携志向農業者との面談（農福連携の意向確認、希望する作業内容の聞き取り）
- ◆農場の現場確認（ほ場、休憩場所、トイレ等の環境）
- ◆農福連携の契約に向けた農福連携志向農業者と福祉事業所の顔合わせ（お互いを知る）
  - 農業者の希望する作業、期間、作業量
  - 福祉事業所側の体制、障がい程度等や注意事項
- ◆農福連携の契約に向けた、現場見学の実施
  - 福祉事業所の支援員による農場・農作業見学を実施
  - 農作業の難易度、作業細分化、作業割当等について確認
- ◆農福連携の契約に向けた、打合せ
  - 委託作業内容、請負単価等についての協議
- ◆農福連携の契約、実施
  - 事前にトライアル期間を設定し、お試し単価での委託作業を実施
  - トライアル終了後、農業者と福祉事業所への確認
    - （委託作業の完成度や単価設定等、双方が納得のいく作業内容・単価での契約となるようにフォローを実施）
- ◆農福連携実施反省会
  - 農福連携実施後の反省と、次年度へ向けての意向についての確認



農場・農作業見学

### 3 成果の具体的内容

- ◇本所地域係、振興局担当との連携、関係機関等との情報共有化による共通認識の醸成。
- ◇岩見沢地域における農福連携の取組が新たに開始された。

- ◇岩見沢地域での農福連携試行農家（指導農業士）をモデルとした取組の広がり
  - ひまわり部会員3農場、JA共選施設での農福連携の実施
  - 果樹農家2農場での農福連携の実施
- ◇意見交換会・農福連携セミナーでの事例紹介を通じた農福連携に関する共通認識の醸成
  - お互いを知ること、コミュニケーション、信頼関係の重要性



モデル農家・ひまわりは種



モデル農家・ブルーベリー収穫



醸造用ぶどう収穫作業

### 4 今後の課題と対応

- 課題：コーディネートを行う、中間組織の設置等、継続性のある仕組みが必要
  - ◇管内の福祉事業所等の状況把握
  - ◇担い手担当者による農福連携事例収集、振興局マニュアル作成に向けた支援
- ～農業者、福祉事業者、関係機関との連携による、農福連携の体制づくり、推進へ～